

目指すとちぎ

医療

国民健康保険税の算定方法について

県内では、基本的に世帯割り・人数割り・所得割り・そして資産割りの4項目で保険料が決定されています。同じ年金生活者であっても、持ち家の有無によって保険料が変わってしまいます。他県では、資産割りを廃止の議論がなされている県もあり、すぐに現金化できない資産にかかる**資産割り廃止**を強く訴えて参ります。

県立がんセンター土曜日外来の開設

県立がんセンターは、高度な医療で長年にわたり県民を支え多くの県民に信頼されている医療機関です。県民の3人に1人がガンになるといわれる今、現在は外来診療を行っていない土曜日に、外来診察を行なうための体制整備を訴えて参ります。

介護

地域包括ケアシステムの構築

県は高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的で住み慣れた地域で自分らしく生活ができるサービス提供体制を整える事にしています。しかし、体制整備や異業種連携が整っていない地域が多く存在します。訪問介護・介護ステーションを増設するためには、運営面で支援を行なう必要があります。特に24時間体制を取るための人材確保や施設運営のための支援を積極的に行ない、安心して住み慣れた家で生活を続けられるケアシステムを作ります。

選択できる介護

国は、在宅介護を積極的に進めております。しかし、核家族化が進み、家族構成や仕事等により継続的な在宅介護が困難な方が、既存のシステムとは逆の介護施設に入所して、ショートステイとして在宅介護を使用できるようなシステムを作ります。

子育て

安心して子育てできる環境整備

近年、晩産化が進み、ハイリスク出産が増加する傾向にあるため、年々出産できる施設数が減少してきています。県の助産師充足率は全国で下位10位に入っています。産科医の適性配置とともに助産師数の確保と、助産師が適性配置される取組みを早期に行ない、住み慣れた地域で安心して出産できる環境を整備いたします。

女性の社会進出を支援する待機児童対策

県及び各市町は、「子ども・子育て支援事業計画」を策定し産後の休業及び育児休業後に就業を希望する満3歳未満児の保護者すべてが、速やかに保育施設を利用できる様にするために、宇都宮市だけでも3歳未満児1400人分の受け入れ体制を整える必要があります。子育て世代の女性が子どもを安心して預け、そして働くことができ「保育の質」にもこだわった体制整備を積極的に行います。

政治でもっと
命を救いたい

討議資料

医師だからできることがある



栃木県議会議員

よしひろ

さはら 吉大

さはら吉大事務所 〒329-1105 栃木県宇都宮市中岡本町3710-82
TEL 028-671-8377